地域で支えあうまちづくり 1

安全で安心して暮らせるまち

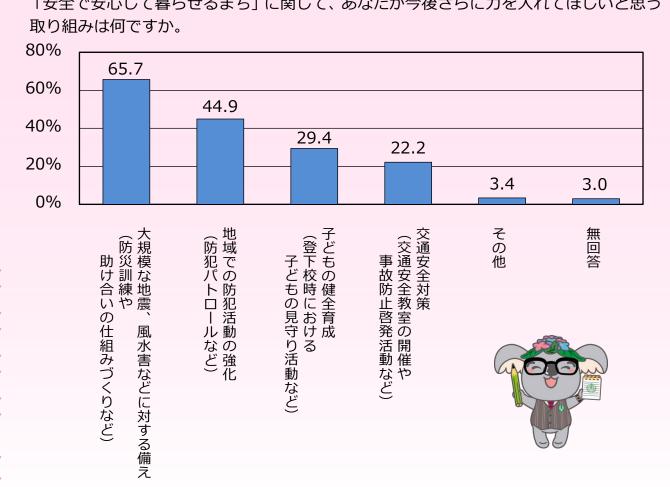


大規模地震や集中豪雨によるがけ崩れや内水はん濫などの自然災害の発生に備え、減災の ために、区民一人ひとりの防災意識や知識を高め、行政の支援(公助)だけではなく、各自の 備え(自助)、住民同士の助け合い(共助)の力を高めていただくよう取り組んでまいります。 また、交通事故や住宅対象侵入盗被害、振り込め詐欺などの特殊詐欺が多発していること

から、交通安全対策や防犯活動を推進し、子どもや高齢者を区民全体で見守る取り組みをす すめてまいります。

【平成 29 年度実施 区民アンケート結果】

「安全で安心して暮らせるまち」 に関して、あなたが今後さらに力を入れてほしいと思う 取り組みは何ですか。



I-i> 地域ぐるみで防災力を高めます

大規模地震への備え

南海トラフ巨大地震に備えて、減災のために、 次の2つの事業に取り組みます。

① 指定避難所開設・運営訓練

熊本地震から得た教訓などをもとに改正した 指定避難所運営マニュアルの内容について啓発 するとともに、地域と協働して、指定避難所開設・ 運営機能を強化する実践的な訓練を実施します。





指定避難所開設・運営訓練

(総務課 753-1811) (消防署 764-0119)

② 出張!家庭の防災教室

自分や家族の命を地震から守ることができる よう、消防署員が地域に出向いて家庭の防災対策 について説明する「出張!家庭の防災教室」や、 事業所の立入検査時に消防署員による「オフィスの 地震対策 | 等を実施し、自助力向上を促進します。 [平成29年度実績]参加者数約16,700名



出張!家庭の防災教室

(消防署 764-0119)

防災訓練

大規模災害による被害を最小限に抑えるため、 「千種区総合水防訓練」を5月27日(日)に小原 橋緑地で、「千種区総合防災訓練」を9月2日(日) に宮根小学校で実施します。今年度、千種区は総 合防災訓練の重点区となっているため、自衛隊な ど多数の関係機関と連携した訓練を行います。

一方、地域防災力の向上を目指して、各学区・ 地域と協働で防災訓練を実施するほか、自主防災 会単位での訓練も支援していきます。

また、関係機関が実施する災害時医療救護所訓 練や災害ボランティアセンター設置・運営訓練に 協力し、災害対応力の強化に取り組みます。



千種区総合防災訓練

(総務課 753-1811) (消防署 764-0119)

防災リーダーの育成

災害が起きた時に地域で中心的な役割を担う 防災リーダーの育成を目的とした防災リーダー 講習会を実施します。

[平成29年度実績]参加者数280名



防災リーダー講習会

(総務課 753-1811) (消防署 764-0119)

ちくさ子ども防災キャンプ

区内の小学4~6年生を対象に、 地域での防災・減災に関する将来

の担い手のすそ野を広げることを目的とした「ちくさ子ども防災キャンプ」を千石小学校で開催します。災害に関する講習・訓練や避難所生活体験など、宿泊型の実践的な防災教育に取り組みます。



ちくさ子ども防災キャンプ

(総務課 753-1811)

救命講習

応急手当についての知識、技術を広く区民の皆さまに普及するため、消防署において救命講習を開催します。

また、地域などからの依頼により、消防団員及 び消防職員が救命講習を実施します。

[平成29年度実績]参加者数574名



救命講習

(消防署 764-0119)

助け合いの仕組みづくり[※]

平成26年度から各学区が取り組んでいる「助け合いの仕組みづくり」がよりいっそう機能しやすいものになるように、区役所・消防署と地域が一体となってその推進をはかります。



※ 助け合いの仕組みづくり とは?

大規模な災害が発生したときに、自力で避難することが困難な高齢者や障害のある方などの安否を確認したり、避難を支援したりする方法について、地域であらかじめ話し合って決めておく共助の仕組みです。

(総務課 753-1811) (消防署 764-0119)

家具の固定ができるボランティア の派遣

大規模地震が発生し家具が転倒・落下すると、 負傷や逃げ遅れの原因になります。

そのため、65歳以上の高齢者や障害者のいる 世帯などのうち、自力では家具固定ができない世 帯を対象に、名古屋市が養成したボランティアが 訪問し、家具の転倒防止作業を行います。



家具の転倒防止作業

(総務課 753-1811) (消防署 764-0119)

I-ii>交通安全や防犯活動への取り組みを推進します

交通安全啓発活動の推進

拡充

区内の交通事故を少しでも減らす が 元 ため、地域住民や関係機関と協力して、交通安全 講話や街頭キャンペーンのほか、新たに高齢者向け「いきいき運転講座」など区民参加型の交通安全教室等を開催し、交通安全を呼びかけます。



交通安全講話

(地域力推進室 753-1821) (警察署 753-0110)

防犯活動の推進

区内で多発している住宅対象侵入盗被害、自動車盗被害及び特殊詐欺被害等を防ぐため、地域や事業者と協働して防犯啓発活動や防犯講話などを実施し、防犯意識の高揚に努めます。



振り込め詐欺防止キャンペーン

(地域力推進室 753-1821) (警察署 753-0110)

地域コミュニティの活性化

安心・安全で快適なまちづくりを進めるため、 自主的な地域活動を行っている町内会・自治会の 活動をリーフレットや小冊子、広報なごや等で紹 介するとともに、加入希望者への支援を充実させ るなど、町内会・自治会への加入促進をはかりま す。

また、地域コミュニティに関する講演会等を開催するなど、地域コミュニティの活性化に努めます。



昨年度の講演会の様子

(地域力推進室 753-1822)

「コミュニティサポーター」をご活用ください!

地域団体等の皆さまからのご相談に応じ、コミュニティサポーターが地域団体等の運営や活動への支援等を行い、地域コミュニティのさらなる活性化を図ります。詳しくは区役所地域力推進室(☎753-1822)までお尋ねください。

高見学区連絡協議会ではコミュニティサポーターを活用し、学区広報紙やホームページの改善に取り組みました。



打合せの様子

I-iii>子どもや高齢者を区民全体で見守ります

こあらっち見守り大作戦

千種区のマスコットキャラクター「こあらっち」を使用したステッカー等を作成し、 これらを活用して、地域住民、区内民間事業者、行政が一体となった防犯・見守り・



交通安全等の啓発活動である「こあらっち見守り大作戦」を展開していることをPRし、犯罪抑止・交 通安全推進等について広く区民の皆さまの意識啓発に努めます。



「こあらっち」を使用したステッカー



交通安全キャンペーン

(地域力推進室 753-1822)

千種区子ども安心週間

青少年が安心して暮らせるまちを めざし、名古屋市が夏と冬に実施し



ている青少年をまもる運動強調期間に合わせて、 「千種区子ども安心週間 | を設け、青少年育成区 民大会の開催をはじめ、キャンペーンや広報車に よる啓発活動を実施します。

また、小・中学生を対象に、自分の身を守るこ とや命の大切さを理解できるよう、ポスターや 「こども防犯ドリル」を使った・ 啓発活動を行います。



青少年育成区民大会 青少年ふれあいコンサート

(地域力推進室 753-1825)

こども防犯ドリル

不審者による子どもたちへのつき まとい等が発生している状況を受け、犯罪の被 害にあわないように、クイズ形式で自分の身を 🛚 守る対策が学べる「こども防犯ドリル」を区内の

小学校1・2年生に配布しています。



Ⅱ 誰もがいきいきと健康で安心して暮らせるまち



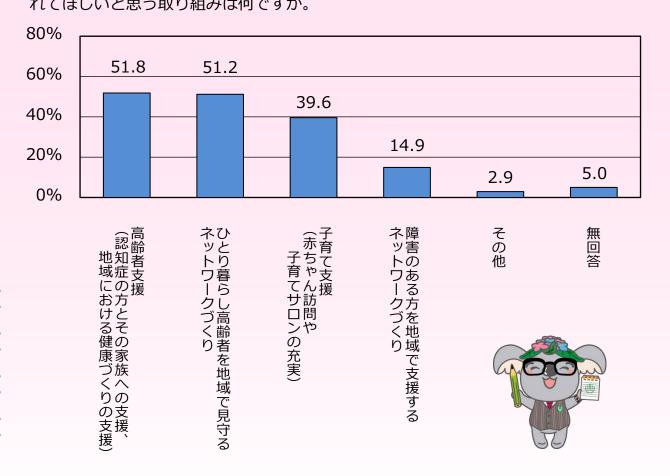
団塊の世代が75歳以上となる2025年(平成37年)までに、急激に高齢化が進むことが見込まれています。千種区では、ひとり暮らし高齢者の方の見守り活動や認知症の方とその家族への支援などに取り組み、高齢になっても住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らし続けられるよう、地域全体で高齢者を支える仕組みづくり(地域包括ケアシステム)をすすめてまいります。

一方、千種区は転入者数が市内で最多であり、増加している子育て家庭が孤立しないよう、 子育ての負担感を軽減するための交流を促進してまいります。

また、障害者差別解消法への理解を深め、障害のある方もない方もお互いを尊重しあいな がら共に暮らすまちづくりをすすめるとともに、障害のある方の自立と社会参加の実現をは かってまいります。

【平成 29 年度実施 区民アンケート結果】

「誰もがいきいきと健康で安心して暮らせるまち」に関して、あなたが今後さらに力を入れてほしいと思う取り組みは何ですか。



{I-i}

高齢者の安心してはつらつとした生活を応援します

地域で安心して暮らすための 支援づくり

① 認知症サポーターの育成

いきいき支援センターと連携して、小・中・高 生や事業者などを対象に、認知症の方やその家族 を温かく見守る認知症サポーターの養成講座を 実施します。また、認知症サポーターが、地域の 様々な場面で活躍できるよう支援します。

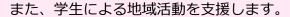
〔平成29年度実績〕

認知症サポーター養成講座受講者数805名

(福祉課 753-1834)

② 高齢者と学生の交流促進

大学・高校が多い千種区の特性を 活かし、サロンやイベントなどを通 じて高齢者と学生の交流を促進します。



(福祉課 753-1834)

③ 高齢者の見守り活動支援

高齢者の孤立化を防止するため、ひとり暮らし 高齢者や高齢者のみの世帯の実態を把握し、高齢 者の見守り活動を行います。緊急連絡先などを記 載できる「こあらっち安心シート」を作成し、見 守りが必要な高齢者世帯に配布します。

また、見守り活動を行う民生委員や自治会役員、事業者などによるネットワークづくりや交流を支援します。



				記入日	年	Я	В	
あなたの お名前				生年月日	年	Я	В	
かかりつけ の病院				持病				
緊急連絡先①	名前			(統柄)				
	電話							
緊急連絡先2	名前	(統柄)						
	電話							
		発行元	千種区	免所福祉課(Ti	n 052-7	53-1	839)	

(表) (裏) (裏) (表) (裏)

(福祉課 753-1834)

高齢者のいきいき活動応援

① 高齢者の健康支援

要介護状態や認知症を予防し、高齢者が元気でいきいきとした生活を送



ることができるよう、いきいき教室では、「つるかめ 健幸コンサート」、「からだまるごと元気教室」、「ひ ざ楽ウォーク教室」を開催するほか、昨年度から始 めた「男性クッキング教室」は定員を増やすととも に、応用編の教室を開催して充実をはかります。

[平成29年度実績]

いきいき教室ほか参加者数2,446名



つるかめ健幸 コンサート

(保健予防課 753-1982)

② 仲間づくり支援

地域でいきいきと活動される元気な高齢者の 増加を図り、地域における自主的な活動を促進す るために、老人クラブ活動を通じた仲間づくりを 支援します。

(福祉課 753-1834)

認知症に対する 正しい理解と知識の普及

認知症の方とその家族が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちを目指し、 千種区認知症地域連携の会*と連携して、市民講座や市民シンポジウムを開催します。

※ 千種区認知症地域連携の会 とは?

住民と保健・医療・福祉関係者・行政などにより構成され、認知症の方やその家族を地域で支える仕組みを創り出すことを目的に設置されました。

(福祉課 753-1834) (保健予防課 753-1984)

千種区版

エンディングノート



ご自分の人生を、元気な時から振り返り、ご家族や身近な方と一緒にこれからの生き方や自分らしい最期の迎え方について考えるきっかけとなるように、千種区医師会とともに「千種区版エンディングノート」を作成して、普及に努めます。

なごやか収集[※]

名古屋市が収集する家庭系ごみや資源を、所定の排出場所まで持ち出すことが困難な、一定の要件を満たした高齢者や障害のある方を対象に、ごみや資源の排出支援を行います。

[平成29年度末実績]排出支援328世帯

※ なごやか収集 は、 環境事業所への申し込みが必要です。

(環境事業所 771-0424)

(福祉課 753-1834)

地域包括ケアシステムの推進

高齢になっても住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らし続けられるよう、「医療・介護・住まい・介護予防・生活支援」と「認知症施策」の各サービスを一体的に提供することで、地域で支え合う仕組みづくり(地域包括ケアシステム)を進めていきます。



ふれあい・いきいき サロン

地域の皆さんが、身近 な場所で気軽に集まっ て、楽しく交流できる サロンが区内にたくさ んあります。

社会福祉協議会 ☎763-1531



通院が大変になってきた。 自宅に来てくれる お医者さんはいるの?

在宅療養って 最近よく聞くけど 詳しく知りたい 在宅療養に関することはお気軽にご相談ください。

在宅医療・ 介護連携支援センター ☎732-0874



運動、栄養、認知症予防など元気に暮らす ための教室を開催しています。

住まい

保健予防課 **☎**753-1984 都福祉会館 **☎**711-1483



いきいき支援センタにご相談ください

健康、福祉、介護、認知症など高齢者の方の身近な相談窓口です。

東部いきいき支援センター

☎781-8343 東部いきいき支援センター

分室 **☎**726-8944

西部いきいき支援センター

☎763-1530

障害のある方の自立と社会参加を応援します

障害や障害のある方への理解の促進

障害のある方が地域で安心して暮らせるよう に、区民の皆さまに向けて、障害や障害のある方 への理解を深め障害者に対する差別を解消する ことを目的とした映画会の開催などの活動を通 じて障害者自立支援連絡協議会*とともに広報・ 啓発に努めます。



映画会

※ 障害者自立支援連絡協議会 とは?

区役所も一員となり、地域における相談支援事業やネ ットワーク構築を目的として、障害福祉事業所マップの 作成や、事業所の研修などの活動に取り組んでいます。

(福祉課 753-1844)

授産製品の販売促進

障害のある方の自立と社会参加を支援するた めに、障害のある方が心をこめて製作した授産製 品や活動内容の紹介を庁舎内のあじさいひろば において常設展示していきます。

また、庁舎内での授産製品の販売のほか、さら に広く販売促進できるようイベントなどでの販 売機会の提供に努めます。



授産製品の 特別販売

所:区役所1階西側(あじさいひろばなど)

日 時:平日 11時30分~13時頃

販売物:弁当、パン、野菜など

関係機関との連携

※上記は、変更になる場合があります。

障害者基幹相談支援センターなど

障害のある方が安心して暮らしていけるよう

に、地域における生活を支援するための福祉サー

ビスの利用や各種制度の活用に関する総合相談

を行う障害者基幹相談支援センターなどの関係

(福祉課 753-1844)

ヘルプマーク・ ヘルプカードの普及



外見では分かりにくい障害などのある方が、周 囲に配慮や援助を必要としていることを知らせ るためのヘルプマークや、具体的に必要な配慮や 援助の内容を記したヘルプカードの普及・啓発に 努めます。



援助が必要な方のマークです。

ヘルプマーク



ヘルプカード

機関と連携し、障害のある方の自立と社会参加の

促進を図るとともに障害者差別の解消に向けて

取り組みます。

○障害者の総合相談・助言・援助

・千種区障害者基幹相談支援センター ☎753-3567

○障害者差別に関する相談

名古屋市障害者差別相談センター **2856-8181**

○障害者虐待に関する相談

名古屋市障害者虐待相談センター

2856-3003

・障害者虐待休日・夜間電話相談窓口

23301-8359

(福祉課 753-1844)

(福祉課 753-1844)

II-iii 子育て家庭を応援します

<u>エンゼル訪問</u> (赤ちゃん訪問)



主任児童委員や区域担当児童委員などの協力を得ながら、生後3か月から6か月の第一子の赤ちゃんのいる家庭に加え、市外から転入した生後6か月から1歳未満の第一子の赤ちゃんのいる家庭へも、区独自に訪問を実施します。さらに、主任児童委員への研修や意見交換の機会を増やし、今後の連携や訪問活動を推進します。

[平成29年度実績]訪問数719件、96.0%



エンゼル訪問

(民生子ども課 753-1873)

ふれあい思春期セミナー

児童が命の大切さについて考えたり感じたりし、豊かな人間性を育めるよう、乳幼児とその親と小学校でふれあい、参加された父・母親の妊娠期から出産・子育ての体験をお話しいただきます。実施にあたっては、各小学校や主任児童委員など地域の役員や子育て中の親子と協働して年9回開催します。

[平成29年度実績]参加児童数559名



ふれあい思春期セミナー

(保健予防課 753-1984)

子育て家庭の交流支援

① 子育てサロン

地域で行っている、子育て家庭を対象にした育 児相談や親同士の交流を図る子育てサロンがさ らに充実するよう、支援します。



子育てサロン

(民生子ども課 753-1873) (保健予防課 753-1984)

② 子育て広場

子育てネットワークちくさ*と連携し、親子で楽しむ音楽会など子育て中の親が気軽に集い、交流できる子育て広場を年8回開催します。

[平成29年度実績]参加者数1,442名



子育て広場(音楽会)

※ 子育てネットワークちくさ とは?

子育て家庭の支援を目的とし、地域子育て支援センター、保育園、児童館、図書館、主任児童委員、区役所・保健センターなどで構成されています。

(民生子ども課 753-1873)

③ 転入者のつどい ~こあらっち広場~

乳幼児のいる市外からの転入者の方を対象に、 子育てに関する情報提供や、仲間づくりのための 交流会を年4回開催します。

[平成29年度実績]参加者数168名



転入者のつどい

(保健予防課 753-1984)

④ 親子クッキング教室

食は、私たちが生きていく上 で欠かすことのできない大切なもの



です。その食に関心を持つことや、望ましい食習慣の実践、食を通じたコミュニケーションの機会を増やすこと、環境に配慮した食生活を実現するために、親子のクッキング教室を実施します。

幼児期から食の体験を増やすことで、自ら食事の栄養を考え、健康なからだをつくることを目指します。

(保健予防課 753-1981)

児童虐待の防止



5月・11月の児童虐待防止推進月

間を中心に広報・啓発を行うとともに、子育て講習会は昨年度に引き続き連続講座として実施するほか、新たに公開講座を開催するなど充実を図り、育児相談など子育て支援事業を通じて子育て中の親の孤立を防ぎます。

また、関係機関と情報を共有するとともに、援助方針を定め、迅速に対応します。

○子ども・子育てに関する相談先

- · 児童相談所
 - 西189 (全国共通、24時間365日)
- ・なごやっ子SOS
- ☎761-4152 (24時間365日)
- ・CAPNAホットライン
- **2**232-0624

月~土曜日(祝日、年末年始を除く)

10:00~16:00

○妊娠に関する相談先

・なごや妊娠SOS

2933-0099

月・水・金曜日(祝日、12/29~1/3を除く)

 $10:00\sim13:00$

(民生子ども課 753-1873) (保健予防課 753-1984)

千種区子育て支援情報がいど



区内の保育園、幼稚園の子育 て支援情報及び学区主催の子 育てサロンの情報などを掲載 しています。

エンゼル訪問時や区役所な どで配布し、子育てへの不安の 軽減につなげます。

詳しくは区役所民生子ども 課(☎753-1873)までお尋ね ください。

地域における健康づくりを応援します

高齢者健幸チャレンジ 大作戦



健康への関心を高めるため、

65歳以上の区民の皆さまを対象に、保健センタ 一のイベント参加や自主的な取り組みなどにポ イントを付与する事業を実施します。一定のポイ ントを達成された方には参加賞をお渡しします。



健幸チャレンジポイント講演会

○なごや健康マイレージ事業

名古屋市では、市民の皆さまを対象とした全市的な 取り組みとして、県の「あいち健康マイレージ」と協 働して事業を実施しています。今年度は夏ごろから実 施予定です。詳しくは健康福祉局健康増進課(四972-2637) までお尋ねください。

(保健予防課 753-1982)

健康づくり活動の推進

健康に対する意識の向上を図るため、生活習慣病 予防のための講習会やロコモ*予防教室、各種イベ ント及び集客施設などでの健康相談・健康チェック を行います。また、第1子の乳児をもつお母さんを 対象としたママロコモ予防教室を実施します。

[平成29年度実績]参加者数731名



ママロコモ予防教室

※ ロコモ とは?

骨や関節、筋肉など運動器が衰え、要介護や寝たき り状態になったり、その危険性が高くなったりする状 態のことです。

(保健予防課 753-1982)

歯の健康づくりの推進

区民の歯の健康づくりを推進するため、幼稚 園・保育所でのフッ化物洗口と高齢者の口腔機能 向上の普及を推進していきます。

また、千種区歯科医師会と協働し、8020運動* の推進や歯と口の健康週間※に合わせ「歯と口の 1日健康センター | の開催、8020運動達成者と歯 と口の健康週間ポスター優秀作品を表彰します。

※ 8020運動 とは?

80歳で20本以上自分の歯を保とうという運動。達 成者の多くが、生涯セルフケアや定期受診の努力をし ています。

※ 歯と口の健康週間 とは?

歯の健康に関する正しい知識の普及や予防の徹底 が目的の週間です。毎年6月4日から10日まで実施し ています。

(保健予防課 753-1975)

出張がん検診

出張胃・大腸がん検診に加え、30歳代から増加 し始め50歳前後にピークを迎える乳がんについ て、利便性の高い商業施設などでの検診を実施 し、早期発見・早期治療につなげます。

○胃がん・大腸がん検診場所

・香流橋地域センター(6月17日、12月1日)

○乳がん検診場所

- ・千種区休日急病診療所(7月5日)
- ・アピタ千代田橋店(10月21日)
- ・千種スポーツセンター(1月17日)
- ・イオンタウン千種(8月29日、3月7日)

○ワンコインがん検診(協力医療機関で実施)

名古屋市では、お勤め先などで受診する機会のな い市内在住の方を対象に、6種類のがん検診(胃が ん、大腸がん、肺がん・結核、子宮がん、乳がん、 前立腺がん)を一つの検診につき500円で実施してい ます。

※ 年度によって検診場所は異なります。 詳しくは保健予防課までお問い合わせください。

(保健予防課 753-1982)